

探究学習の現在地 聞き取りシート（保護者用）

といのタネ

このシートは、子どもの探究学習がいまどこまで進んでいるかを家庭で聞き取り、手伝う範囲を決めるための用紙です。全部で40分ほどを見込みます。2日に分けて書いてもかまいません。

記入日: _____　子どもの学年: _____

ステップ1 子どもに質問して答えをそのまま書く

ここでは、子どもの言葉を言い換えずに書き留めます。良し悪しは言わず、聞くことに専念します。目安は15分です。

質問	子どもの答え
いまの問いは何？	
次に何をする予定？	
いま困っていることはある？	

問いの1文がまだ言えない場合は、それもそのまま「まだ決まっていない」と書きます。

ステップ2 4段階のどこにいるかに印を付ける

ここでは、ステップ1の答えを探究の4段階に当てはめます。当てはまる段階の印の欄に○を書きます。迷ったら2つに○を付けてかまいません。

段階	目安となる子どもの様子	印
課題の設定	問いを考えている途中で、1文にまとまっていない	
情報の収集	本・統計・聞き取りなどで材料を集めている	
整理・分析	集めた材料を比べ、何が言えるかを考えている	
まとめ・表現	レポートやスライド、発表の準備をしている	

探究はこの4段階をくり返して深まります。発表のあとに課題の設定へ戻っていても、進み方としては想定された流れです。

ステップ3 学校の資料から日程を書き写す

ここでは、学校の手引きや年間計画にある予定を、原文のまま書き写します。目安は15分です。日付は資料と1字ずつ照らし合わせます。

予定の名前	日付	書かれていた資料と場所
記入例: 中間発表	記入例: 12月の第2週	記入例: 探究の手引き 3ページ

予定の名前	日付	書かれていた資料と場所

資料が見当たらない場合は、担任か探究担当の先生に配布の有無を問い合わせます。問い合わせた日: _____

ステップ4 家庭で手伝うことと子どもに任せることを分ける

ここでは、ステップ2で○を付けた段階について、手伝う範囲を決めます。目安は10分です。子どもと一緒に書くと、お互いの思い込みが減ります。

段階	家庭で手伝うこと	子どもに任せること
記入例: 情報の収集	記入例: 土曜に図書館へ車で送る	記入例: 何の本を借りるかを決める

判断の軸は次の2つです。1つ目は、子どもの作業を親が代わりに進めていないかです。2つ目は、問いを決める・考える・書くといった中心の作業を子どもに残しているかです。

ステップ5 AIの言い換えを使った場合に確かめる

ここでは、学校の資料をAIで言い換えた場合に、その中身を原文と突き合わせます。AIを使っていなければ、このステップは飛ばします。

確かめること	確かめた結果
締切や日付は原文と同じか	
AIが判定した段階は、子どもの話と合っているか	
意味が変わったと感じた語はどれか	
貼り付ける前に、氏名・学校名・連絡先を消したか	

AIの言い換えをもとに、親の言葉で子どもへの質問を1つ作ります。

次に聞く質問: _____

記入例

次は、ステップ1とステップ2を書いた例です。

いまの問いは何？ に対しては「駅前の商店街に空き店舗が増えた理由を調べたい」と書きました。次に何をする予定？ に対しては「市の統計で店の数の変化を探す」と書きました。この答えから、課題の設定はおおむね終わり、情報の収集に入ったところと判断して、情報の収集に○を付けました。ステップ4では、家庭で手伝うことを「市のウ

ェブサイトで統計の載っているページを一緒に探す」、子どもに任せることを「どの年の数字を比べるか決める」と書きました。

次の聞き取り予定日: _____